

平成 29 年度 第 4 回第 2 次安曇野市文化振興計画策定委員会 会議概要

- 1 会議名.....平成 29 年度 第 4 回第 2 次安曇野市文化振興計画策定委員会.....
- 2 日 時.....平成 29 年 8 月 24 日 午前 10 時から正午まで.....
- 3 会 場.....安曇野市役所本庁舎 3 階 共用会議室 306.....
- 4 出席者.....笹本委員長、金井委員、伊澤委員、三好委員、片桐委員、古根委員、
.....鈴木委員、山田委員、.....
- 5 担当課出席者.....山田教育部長、那須野文化課長、三澤文化振興係長、財津博物館係長、
.....山下文化財保護係長、丸山文化振興係主事、堀文化振興係員、大月安曇野文
.....化財団事務局長.....
- 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人.....2 人.....記者.....0 人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成 29 年 8 月 31 日.....

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 (那須野文化課長)
- 2 協 議
 - (1) 施策の大綱について
 - (2) 安曇野市の特徴的な文化について
 - (3) その他
- 4 閉 会

○協議概要

(1) 施策の大綱について

- 資料内容説明 (事務局)
- 委員からの意見

委 員 ・ 総合計画・生涯学習推進計画の策定が現在進められているということだが、現状の審議の内容がどうなっているのか、委員向けに情報が欲しい。

- ・ 市長選の結果を受けて、総合計画の内容も調整すると新聞に書かれていたが、今後の変更についても知らせてもらいたい。

事務局 ・ 関係部局に確認はするが、審議途中のものを示すことは難しい。提供できる情報はごく限られる。

- ・ 上位計画は大きな方向性を示すものである。内容に大きな変更があれば、改めて諮るが、現時点で示しているものは、現状の総合計画の内容に包括されているということでご理解いただきたい。

委員長 ・ 上位計画に縛られる部分はあるが、市民の幸せのためにやらなければいけないことは、きちんと主張していきたい。

- ・ 盛り込めないことも意見として記録に残るので、ぜひ発言して欲しい。

委 員 ・ 19 頁、文化芸術施設の整備・充実の中で、「郷土資料館の統廃合を進め～」とあるが“等”が抜けている。

- ・ 22 頁、文化芸術活動の推進の中で、「市民ニーズを把握した企画の～」とあるが、市民ニーズの把握に重点を置きすぎるのは避けるべきではないか。
 - ・ ファシリテーションの質の向上と事業の周知方法の改善の 2 段構えで書き込んでもらいたい。
 - ・ 26 頁、地域文化の創造の中で、「事業展開（ニーズを生み出す）～」とあるが、これに対応する取り組み方針が示されていない。
- 委員長
- ・ 集客や市民ニーズの問題と文化を向上させることには大きな差がある。ニーズを強調しすぎると文化の向上につながらない部分も出てくると思う。
- 委員
- ・ 19 頁、公民館と交流学习センターについて「今後は活動の充実を図る必要がある」とあるが、それぞれどう違いを出していくのか。利用者の立場からすると分かりにくい。
- 事務局
- ・ 交流学习センターについては、中規模以下のホールになるが、先進的で質の高い事業ができるように進めてきた。
 - ・ 公民館については、地域の生涯学習の場として利用されている
- 委員長
- ・ 公民館は地域交流を主体、交流学习センターは地域を越えた学びを主体として人が集う場所だと思う。そういった概念を計画の中で説明して欲しい
 - ・ 23 頁、「無形文化財・産業遺産など～」とあるが一般の人にはどんなものかわかりづらい。読む側に対して親切に説明してほしい。
- 委員
- ・ 交流学习センターのホールは、貸館として多くの人に利用されている。一方公民館ホールは地域の生涯学習のための場だということだが、貸館として市外の方が利用することは可能なのか。
- 事務局
- ・ 市外の方でも利用していただくことは可能である。ただし、市民の方も含めて、使い方によっては料金体系が異なってくる。
- 委員長
- ・ 文化活動は多方面から重層的に行わなければならない。役割が重なる部分もあるが、それを市民に分かってもらうためには説明が必要である。
- 委員
- ・ 19 頁、ユニバーサルデザインについて、「老朽化した施設では対応が困難な状況です。」とあるが、今後どのように対応していくのか。
- 事務局
- ・ 既存施設を生かさなければならない中で、財政的な事情等によりすぐにはできないが、改善はしていきたいという思いで入れさせていただいた。
- 委員長
- ・ 「困難な状況です。」と切れてしまうと良くない。「困難な状況ですが、努力していきます。」というような次につながる書き方にしてほしい。
- 委員
- ・ 努めます、進めます等の表現があるが、人手が足りない中で、計画を具体化するためにいつ、誰が、何をやるのかということは検討するのか。
- 事務局
- ・ 事業化するには実施計画や予算を立てる必要があるが、今回の文化振興計画ではそこまで具体化はしない。
 - ・ 中長期的な展望に立って課題とやるべきことを挙げておき、今後の事業の

根拠としたい。

- 委員長
- ・ すぐ出来ることとそうでないことがあり、具体的に書きすぎれば市を縛る道具にもなる。細かく書かずに広い視点でつくりたい。
 - ・ 大切なのは漏れがあるかないかで、計画に書いていないからやらない、という否定の材料にされないようにしたい。
- 委員
- ・ 豊科郷土博物館の階段がきついで、中長期計画に入る以前の、喫緊の課題としてエレベーターを整備できないか。
- 事務局
- ・ 新しい博物館を造るという方向性の中で、できるだけ新しいものに投資をしていきたい。皆さんにご意見を伺いながら、やるものとやらないものを仕分けしていきたい。
 - ・ 計画の中では、進めていきたいという意向を示してある。
- 委員長
- ・ 19 頁、表中の新市立博物館構想の推進では、現状に全く触れていない。市民のニーズは増えているが具体的な整備が進んでいない等の、現状についての記述が欲しい。
- 委員
- ・ 27 頁 1 行目、「外国人ら」とあるが、観光客を指すのか、市民を指すのかわからない。書き方も含め検討して欲しい。
- 委員長
- ・ 文化資源の発掘とは、何のために何をするのかということが見えないといけな。市民のための文化の発掘になると思うので、それを踏まえて分かりやすく書いてほしい。
- 委員
- ・ 22 頁施策例に「～バランスの良い適正な事業の実施」とあるが、何と何のバランスなのか、適正な内容なのか規模なのか、表現等検討して欲しい
 - ・ 市民の意見・要望等を聞く体制づくりが必要ではないか。どこに入れば良いかは分からないが、市民との意見交換について、記載を検討して欲しい。
 - ・ 23 頁、取り組み方針の中で、史跡・名勝・天然記念物の例として屋敷跡は挙げられているが、古民家や屋敷林が抜けている。
 - ・ 巨木等を大切にするとしながらも、実際には伐採されたりする例が目立つ。住民から要望があった際には、協議を行った上で、景観を生かしつつ要望に応えられるような体制が欲しい。
- 事務局
- ・ 景観については景観計画等、他の計画にゆだねる部分大きい。
 - ・ 23 頁の指摘部分については、指定文化財についての記述である。屋敷林等については 17 頁にあるとおり、景観づくりの中に位置づいている。
 - ・ 巨木等について、個人の財産である以上は、たとえ景観上優れていても行政で伐採を止めることはできない。
 - ・ 「バランスの良い適正な事業」については、文言を検討したい。
 - ・ 市民参加・協働の受け入れ窓口については、文化振興計画に盛り込むのが適当かどうか、担当部署等と調整したい。

- 委員長 ・ あくまで指針なので、市民の意向を汲み上げ、論議をする場を設けるよう努力するというような一文を入れていただきたい
- ・ 広域性が見えてこないなので、近隣市町村との連携についてもどこかに入れていただきたい。
- 委員 ・ 23 頁、文化財の保護と活用について、「～適正な保全が図られるよう研修を開催する～」とあるが、研修の対象として何を想定しているのか。
- ・ 埋蔵文化財の補修について、市で何をやっているのか市民は分からない。小中学生等を対象に、土器等を補修する過程を見せてはどうか。
- 事務局 ・ 研修は土地の開発を行う方を対象としている。文言を付け加えたい。
- ・ 修復の過程については、今後の企画の中で生かしたい。
- 委員長 ・ 博物館の重要な機能は伝えることであり、展示はその一部に過ぎない。
- ・ 会議後も、気づいた点があれば、事務局まで意見を寄せていただきたい。

(2) 安曇野市の特徴的な文化について

●資料内容説明（事務局）

●委員からの意見

- 委員 ・ 安曇野の風土の特徴として、田園風景や白いソバ畑の写真が欲しい。
- ・ 前回も意見があったが、満願寺・ワサビ田の写真も欲しい。
- 委員長 ・ 1次計画の時に掲載した写真は、一時的に外してあったりするので、入れていただければと思う。
- ・ 対比として、堰の写真があるなら田園風景や米の写真があるとよい。また、食品の蕎麦が出てきている以上はソバ畑の写真がほしい。水の風景を強調しているので、ニジマスと信州サーモンの写真もあればよいと思う。
- 委員 ・ 項目として挙がっているものについてはすべて写真がほしい。
- 委員長 ・ 方言のように写真で表現できないものもあるので、ご理解いただきたい。
- 委員 ・ 旧街道や大正・昭和に開かれた街道など、道の写真を入れてはどうか。
- 委員長 ・ 関連して、地図がほしい。道がどう繋がっているか、周辺の市町村との関係が分かるので良いのではないかと。
- ・ 事務局から紹介いただいたように、道の写真があれば道標も入ってくる。
- 委員 ・ 能楽鑑賞会の写真が欲しい。
- ・ 田植えのような、自然の中で働く風景があっても良いのではないかと。
- ・ あづみ野スタイルや田舎のモーツァルト音楽祭など、市民の自主的な活動や交流の様子がほしい。
- ・ 豊科高校の吹奏楽部の練習・発表風景など、音楽関係の写真がほしい。
- 委員長 ・ 過去からの積み重ねにより定着してきた能楽鑑賞会を、これから良くしていくためにも、シンボルとして写真が欲しい。
- ・ 一方、で文化とは常に作られていくものなので、子どもたちの写真もでき

れば用意していただきたい。

- ・ ページ数の都合もあるので、掲載しきれないものについては、ウェブ上での公開等の方策を練っていただければと思う。

委員 ・ 各地区で色々なオフネが作られているので、穂高神社だけではなく、そういったものも入れてはどうか。

委員長 ・ 穂高神社のオフネ祭りは既に出ているが、地域ごとのお祭りも大事。沢山あるので勘案させてもらいたい。

- ・ 風の神祭りのような、皆が知らないお祭りも入れていかなければならない。
- ・ 棚田の風景も大事だと思う。安曇野の多様性を理解してもらうために、気が付きにくい山の中の風景にも触れていただきたい。

委員 ・ 有明山自体の写真も欲しい

委員長 ・ 有明山は信濃富士の典型であり信仰の山なので、必要だと思う。信仰・お祭りのために人が登っているので、できれば登山の写真も欲しい。

- ・ 皆がやっているお盆・正月・七夕といった行事は、個人レベルのものであると同時に、安曇野が広く持っている文化なので、ぜひ発掘して欲しい。

委員 ・ 安曇野は音が魅力ではないか。ウェブ版ができるのであれば、音楽はもちろん、山を切る風の音などを録音して、そこで紹介できないか。

委員長 ・ 文化振興計画の中ではあまり音について論じられていない。少しずつ音に意識を向けられる風土を作っていきたい。

- ・ ウェブ版が実現するのであれば、せせらぎの音など、安曇野らしい音というものを考えてもらいたい。

委員 ・ 安曇野市の歴史・文化・景観をまとめた DVD を作成してはどうか。

事務局 ・ 事業としては、8mm フィルムのデジタルデータ化や安曇野風土記の出版等を行っている。計画ができれば、今後色々なことが事業化できるので、その中でいただいた意見を元に検討していきたい。

委員長 ・ 写真には文章以上にメッセージになる。四季をどのように散りばめるか、朝・昼・夜を入れ込むかなど色んな要素がある。また市内の一つの地域に偏っていないかなど、よくチェックしたい。

委員 ・ 先日田んぼのあぜで、カエルの鳴き声を録音したが、こういうものがウェブで活用できればいいと思う。

- ・ 新しい施設を造るときに、サウンドスケープの考え方に基づいた、音を考えた建物づくり・庭づくりができれば良いと思う。

委員長 ・ ホタルの写真や花火大会の写真など、光のある写真も欲しい。

事務局 ・ 最終的な計画書のページ数がある程度決まっている中で、写真はバランスよく配置し、取捨選択していく。漏れたものについてはウェブ上の PDF 版に別添として補足する形で載せられるのではないかと思います。

- ・ 音声の掲載はハードル高いが、情報政策等担当部局と協議したい。

(3) その他について

●資料内容説明（事務局）

●委員からの意見

委員 ・ 2頁の登録文化財等の統計情報が古い情報ものになっているので、最新のデータに差し替えて欲しい。

委員長 ・ 掲載する情報は、できるだけ新しいものに書き直していきたい。

委員 ・ 2頁に「財政状況は～市民ホールの建設を推進できる状況にありません」とあるが、新市立博物館構想は進める一方でホール建設はやらないのか。

事務局 ・ 財政状況は、交付税の減少等により、今後非常に厳しい状況になる。現在体育館の建設を進めているが、以降の新規施設建設は見込める状況にない。

- ・ 計画の中では、意見を取り入れて「要望がある」としているが、それを確実に作っていくという段階にないという意味合いである。

- ・ 新市立博物館構想では、新しく造るという方向性は出しているが、実際に造るのは先送りにしている。10年以内に造るということではなく、造るまでの間に、ソフト事業等のできることを進めていくということである。

委員長 ・ 博物館構想については、計画は立てたが財政的に厳しいので凍結されたというのが実態である。

- ・ ホール事業の推進の部分で意見が出たので、将来につなげようということで「要望がある」という一文を入れた。

委員 ・ 計画の段階で、財政状況について明記する必要があるのか。

事務局 ・ 検討させてもらうが、財政的に厳しい状況の中でこういった計画があるということ、どこかでにじませなければならない。

委員 ・ 理由は分かったが、もう少し文言を見直してもらえないか。

委員長 ・ すぐにできる部分と、できない部分とがある。できない部分については説明がないと、逆に市民が納得しない。

- ・ 予算の財政がひっ迫している状況は、何らかの形でメッセージにしておかなければならない。文言は直すにしろ、これは入れさせてほしい。

事務局 ・ 「建設を推進できる状況にありません」の部分については、市民ホールと限定せず、新しい文化施設等の言葉に置き換えていきたい。

- ・ 豊科公民館ホールについては、せっかくリニューアルしたので、これをうまく活用していくという視点でお考えいただければと思う。

委員 ・ 造るか造らないかではなく、広域的に考えるべきではないかと思う。近隣自治体にはすでに大きなホールがある。広域的な活用も含めて今後検討してはどうか。また、そういった一文は入れられないか。

委員長 ・ 文化振興全体に関して、市町村を越えた広域的な視点から考えることが必

要です、というような一文をどこかに入れていただければ、色々のことが解決できるのではないか。

事務局 ・ 全体のバランスを見ながら検討させていただきたい。

○次回会議予定について

事務局 ・ 次回の会議は9月27日(水)を予定しておりますので、よろしくお願ひします。本日は長時間にわたりありがとうございました。

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。